

運転の上手いひと

みなさんは「運転の上手いひと」というとどのような運転者を思い浮かべますか？レーサーやスタントマンのような華麗な運転をするひとを思い浮かべますか？

わたしは「運転の上手いひと」というと、地味で慎重な運転をするひとをイメージします。なぜだと思えますか？

昔、テレビでプロ野球を見ていた時のことです。ある外野手が華麗なプレーで、難しい打球をキャッチしました。ところが、それを見ていたある解説者が、「あの選手は守備が下手だ」と言うのです。理由はこうです。本当に守備の上手い選手は、予測力に優れているので、打球の飛びそうな方向に素早く移動する。だから、正面で打球をとることになり、球に飛びつくような派手なプレーにならない。つまり、予測ができていないから、球に飛びつくことになる、というのです。もちろん、どんなに予測力が優れていても、打球に飛びつかないと仕方がないときはあるでしょう。しかし、予測力に優れていれば、派手なプレーを披露する機会は減少するということでしょうね。

運転技術でも同じようなことがいえます。運転技術のひとつに、「緊急回避」があります。目の前に、歩行者が飛び出したときなど、他車（者）に接触せずに、歩行者を回避するような技術です。緊急回避が成功すれば、まさにファインプレーですね。

もちろん、こういった技術は万が一のことを考えれば、非常に重要なものです。しかし、危険を予測していれば、このような華麗な技術を披露せずに済みます。歩行者が飛び出すことを早い段階で予測していれば、静かにブレーキを踏むことで事故を回避できます。

わたしが思う「本当に運転の上手いひと」は、このような危険予測力に優れたひとなのです。予測力が優れていれば、緊急回避の機会が減るばかりではなく、必然的に地味で慎重な運転になっていきます。

危険予測力を高めるためには、危険についての理解を深め、危険に対する感受性を磨く必要があります。みなさんも、中央研修所で危険について学び、ひと味違う「運転の上手いひと」になりませんか？

理論教官
太田 耕平